

東北地方太平洋沖地震についての所長メッセージ

今回の東北地方太平洋沖地震により、非常に大きな被害が生じています。被害にあわれた多くの方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

私どもの研究所でも、とくに岩手県大槌町に設置されている国際沿岸海洋研究センターの施設と教職員・大学院学生らが、極めて大きな被害を受けました。

大気海洋研究所では、東北地方太平洋沖地震災害対策本部を設置して、情報を収集し、必要な対策をとることに全力をあげています。また、研究所のウェブサイトに対策本部のページ (http://www.ori.u-tokyo.ac.jp/news/j/index.cgi?mode=cat_view&cat_id=15) を設け、安否確認状況などの情報を順次お知らせするようにしています。

柏キャンパスにおいても、研究棟に若干の被災があり、大学院学生や教職員にもこの地震の影響が及んでおります。本日から計画停電の影響で、通学・通勤に大きな困難が生じつつあります。余震などについても予断を許さない状況です。このような状況にありますが、研究所の皆さんには、それぞれの安全と周りの人々の安全に配慮しつつ、適切な判断のもとに、勉学・職務の遂行を力強く図っていただくようお願いします。

大気海洋研究所では、国際沿岸海洋研究センターの教職員・大学院学生の皆さんをはじめ被災された方々への対応を、息の長い展望のもとにしっかりと行なう決意です。研究所をあげて、この困難を乗り越えていければと思います。所外の関係の皆さまには、温かいご支援をよろしく願いいたします。

2011年3月14日

東京大学大気海洋研究所
所長 西 田 睦